

編集後記

あの恐ろしい大地震から1年。この1年は何年分にも相当するような、いろいろな意味で大変な1年でした。特に本校は校舎が倒壊し、長田を離れ、ここ須磨・妙法寺（第二運動場）の地に移転せざるを得なくなりました。そのため震災後の三か月ほどは、生徒の安否確認や長田校舎からの移転作業、授業再開に向けての準備等々、忙しい毎日でしたが、学校の将来のことを考えると不安な日々でした。

やがて、3月8日に仮設校舎が建ち、無事、新学期を迎え、試行錯誤の感もありましたが、授業も軌道に乗りました。12月22日より新校舎の建設も本格的に始まり、来年度の願書受付、入学試験の準備と順調に進んで来ております。

震災直後の混乱の中で、約400年に1度と言われる大震災の体験を本校の記録として残すこととなり、2月に入って原稿の依頼から始めました。作文だけでなく関連の資料も次々と集まり、当初の予定より大部の「大震災の記録」となりましたが、平成8年2月23日卒業式の日に発刊する運びとなりました。作成にあたって原稿をお寄せ下さった皆様に感謝いたします。

あの震災で得た数々の教訓を大切にし、人と人との絆、心の優しさ等人間の素晴らしさを再認識し、自然への畏敬の念を忘れないでいたいものです。

そして、神戸の街が一日も早く復興し、美しい神戸に戻ることを祈念いたし、編集後記とさせていただきます。

（平成8年1月 記）

編集委員

安藤 佳代	上杉奈津子	近藤 直輝
外山 郁子	中川 尚子	中山けい子
前田 行信	宮野 宣康	鎌田 邦男

写真提供

大歳 哲司	池澤写真館	佐藤工業株式会社
-------	-------	----------